



学校風景

後輩のみなさんの中には、まだ目標が持てずにまよっている人が多く、多いと思いますが、なるべく早い時期に一度自分自身を真剣に見つめ直して、将来何をしたいか、そのためには何をすべきかを考え、目標をたてることが大切だと思います。それが勉強の面でもいいし、趣味の方面でもいいでしょう。そして、目標を得ることができたなら、後はそれに向かって突き進むのみです。

かの松下幸之助氏の語録に「本気になって真剣に志をたてよう、強い志があれば、ことは半ば達せられたと言ってもよい」という言葉があります。

とにかく目標を見失わないように、若い力と努力で自分の夢をかなえてください。

卒業証書授与式 百三十七名が巣立つ

第二十回卒業証書授与式は、三月十六日(月)に本校第一体育館において挙行された。

機械工学科七十四名、電気工学科三十五名、土木工学科二十八名の計百三十七名が、西村校長より一人ずつ手渡された卒業証書を手、母校より巣立つて行った。

◎校長表彰◎

沢井裕一君ら十二名

昭和六十一年度卒業生に対する校長表彰は、次の十二名となり、卒業証書授与式終了後、校長より表彰状と記念品が手渡された。

◎学業成績優秀に該当する者

- 機械工学科 沢井 裕一
- 機械工学科 武谷 俊幸
- 電気工学科 尾名 啓一
- 土木工学科 山中 正克

◎体育・文化功労等に該当する者

- 機械工学科 富田 卓実
- 機械工学科 高岡 勇
- 機械工学科 森内 繁範
- 電気工学科 中山 哲也
- 電気工学科 栗本 武夫
- 電気工学科 計盛 博文
- 電気工学科 山添 雅仁
- 土木工学科 折野 浩司

第二回四国地区高専 学生英語弁論大会

RECITATION(暗唱)の部で一位藤本(二B)、二位井上(二E)団体は一位高知(十六点)、二位阿南・詫間(十五点)。

昨年の第一回大会(於阿南)に引き続き第二回大会は粉雪の舞う二月二日九時二十分より新居浜高専に於て開かれた。開会の辞、主管校長挨拶の後、前年度団体優勝校の阿南による優勝杯の返還、レプリカの贈呈をうけた後コンテストが始まった。

この部で前年度優勝している藤本はやはり群を抜いたが本年度新しく参加した井上は日頃の練習熱心さに落研で身につけた説得力で追いつけあわや一位結局僅差で二位につけた快挙は関係者の間で話題を呼びそうである。

自由弁論の部は詫間が強かった。一位宮澤(男四年情報)二位川井(男五年情報)は英語以外の要素である人間的雰囲気のかもし出す説得力に加えそれぞれ六ヶ月のアメリカ留学で身につけた言語感覚で自由弁論では一、二位をさらった。

団体の部として総合成績は暗唱の部二名、自由弁論の部三名、計五名をフルにエントリーした高知が一点差で詫間・阿南を抜き総合優勝した。

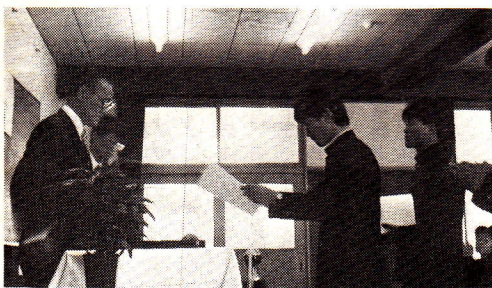
ここで表彰規定につき簡単に説明しておく。各部門の上位五名に

ついてその上位からそれぞれ次に記述するような得点を与え、他の金出者には、自由弁論の部については二点を暗唱の部については一点を与える。

自由弁論 7・6・5・4・3
暗唱の部 6・5・4・3・2
ちなみに阿南のエントリー数は四名、高知五名、高松三名、詫間四名、新居浜五名、弓削二名であった。

今後とも在学生諸君に対し本大会に対する理解と積極的な参加を呼びかけていき次回には少なくとも五名のエントリー数を満たしたい。本年度は五名で出た阿南高専弁士陣であったが途中で一名の棄権があったのが惜しむ。

尚次の大会は未確定ながら年内の十一月下旬に文化祭と併行して詫間高専にて行なわれる模様。



昭和61年度 後援会会員研修旅行 を終えて

三菱電機姫路製作所と

川崎重工業明石工場を見学”

先進企業の見学と会員相互の親睦を図るため毎年実施している会員研修旅行は、兵庫県姫路市の三菱電機姫路製作所と、明石市の川崎重工業明石工場を見学することになり、去る10月5日(日)朝、観光バス2台に分乗して、一泊二日の予定で出発した。第一日は阿南高専を定刻8時30分に出発、鳴門大橋を経由し淡路島を縦断、岩屋港よりフェリーで明石港へ、玉津インターより第二神明道路、加古川バイパスとガイドさんのユニークかつ流暢な案内で快適なドライブを楽しみつつ、本日の宿泊地塩田温泉(ホテル夢乃井)に向いました。途中、姫路城にて、記念撮影等楽しいひとときを過ごし、予定通り無事ホテル夢乃井に到着、入浴後の懇親会では、会員相互打ち解けて談笑、有志によるカラオケ等、旅の疲れを温泉で洗い流し楽しい一日でした。

翌10月6日(月)は、ホテルを9時に出発、9時40分三菱電機姫路製作所を訪問し、先ず会議室に案内された概要説明、湯茶等の接待を受けた後工場内を見学し、最新の設備で効率よく自動車部品がベルトコンベアで各工程を経て組立られ、製品として完成していく様子を工場の方の説明を聞き、大変感銘を受けながら1時間30分に渡る見学を終え、一路次の訪問先へと向いました。

ました。ドライブインでの昼食後、13時30分川崎重工業明石工場を訪れ、会議室で概要説明、映画、湯茶等の接待を受けた後工場内でロボットの製作過程を見学、その精巧さに、ただただ驚くばかりでした。有意義な体験を終え、会社の方々の見送りを受け帰路にと着きました。

訪問した二つの会社とも、阿南高専の卒業生が頑張っていること事得意を強くしたのはいうまでもありません。様々な思い出を胸に楽しかった研修旅行も全員無事予定より早く帰校し幕となりました。今年は、長野会長以下88名(男性44名、女性44名)の参加者があり、他に学校から校長先生をはじめ松尾学生主事他3名の職員が添乗しましたが、この様な楽しく有意義な見学会に会員の皆様益々参加され、今後とも充分な成果が挙げられますよう期待しております。

(後援会事務局)



姫路城にて